新しい価値観とスピード感
平成26年度の予算が決定しました

本年度の各会計予算が第1回定例市議会で可決しました。総額は、2，570億346万円です。ここでは主な事業や施策などを紹介します。本市ホームページにも詳しく掲載しています。

問い合わせは　財政課　☎027－898－6542

前橋市長　山本 龍

今年度は、「市民の英知とともに、眠れる県都の宝を磨き、発信（つたえ）よう」を行政経営方針に定めました。「民間共創」「産業づくり」「歴史・文化の発信」の3つの重点施策が基本。人口減少や雇用創出など、緊急性の高い課題の解決を目指します。

市長に就任してからの2年間に芽生えた「新しい前橋の価値の芽」に、花を咲かせていきます。眠れる県都の宝とは、「市民や自治会の自主的な活動や善意」「先祖が築き上げてきた歴史・文化」「落ち着いた街路の美しさ」などです。この宝をもっと磨き発信する事が必要です。

一方、前橋の課題は、公共交通の不便さです。東京へのアクセス、高齢者の通院や買い物、障害者の外出など―。この課題は大きな心配事です。新交通の整備やJR前橋駅をはじめとした各駅、上毛電鉄の利便性向上に新展開を行う年にします。

これらを実行するためにも、無駄や非効率を改め、行財政改革は勇気をもって実行します。縦割りと前例踏襲は見直し、今ある資源の有効活用で、市民と市役所の相互利得に繋がる方策を見いだしていきます。

□消費税は社会保障充実に

4月に消費税率の引き上げが実施されました。この引き上げ分の税収は、福祉医療費や国保税軽減対象世帯の拡充など、社会保障施策に全額を使用します。東日本大震災からの復興特例措置として引き上げられる個人市民税の均等割は、市営住宅耐震補強外壁改修、防災ラジオ購入費などの防災対策費用の財源に。また、2月の大雪被害対策費に、69億4，000万円の追加補正予算が可決しました。

3つの重点施策と6つの大綱

行政経営方針の重点施策である「3つの重点施策」と第六次総合計画で掲げる「6つの施策の大綱」で取り組む事業を紹介します。
新は新規事業 充は充実事業
※1万円未満は端数整理しています。

●3つの重点施策

重点施策1　「民間共創」により、質の高い行財政運営を目指します

充 自治会活動を活性化する自治会一括交付金 ……4億286万円

自治会に一括交付金を交付。自主性を尊重し、地域のことは地域にまかせます

充 **市民団体協働のための市民提案型パートナーシップ事業**……147万円
住民と行政の協働による地域課題の解決。協働に関する職員・市民向け研修会開催など（今年度本格実施）

新 **公募型体験ツアーによる赤城山観光振興事業**……100万円
民間活力により、赤城山を素材とした自然体験ツアーを公募

重点施策2　次代を担う前橋ならではの「産業づくり」に挑戦します

充 6次産業化を推進する農畜産物加工品創出支援事業及び「赤城の恵」ブランド推進事業 …… 1,231万円

6次産業化の推進に必要となる商品開発費等の補助と「赤城の恵」ブランドなどの販売促進に関する取り組みなど

新 **赤城大沼用水を活用した小水力発電事業**……2,222万円
赤城大沼用水を活用し、地域特性を活かした小水力発電の普及を進める（測量・実施設計など）

充 **まちなかに賑わいを創出する中心市街地空洞化対策・再生推進・活性化支援事業**……6,823万円
中心市街地活性化のため、新しい商売を生み出す施策を実施（学生向けシェアハウス家賃助成、まちなか店舗開店支援、中心市街地の空きオフィス対策事業、にぎわい交流空間の創出など）

臨江閣

茶室「畊堂庵」

重点施策3　地域の「歴史・文化」を磨き、新たな魅力を発信します

新 歴史と文化に光をあてる近代文化歴史・調査事業及び歴史文化遺産活用推進事業 ……2,057万円

前橋市の歴史遺産を活用し、市のブランド力創出に関する施策を実施するとともに、地域の文化振興と観光施策の一助とする

新 **近代の歴史・文化を見つめなおす大河ドラマ「花燃ゆ」プロジェクト推進事業**……1,000万円
平成27年NHK大河ドラマ「花燃ゆ」に係る推進協議会の設置と啓発推進など

新 **景観重要建造物基礎調査**……300万円
市内全域で抽出した建造物のうち、景観形成の観点から、景観重要建造物の選定に当たっての調査